

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2単位 現代経済	日本経済論	松田 慎一	1年次	春

授業のキーワード	国民所得、物価、日本銀行、銀行、外国為替、失業と労働
授業の概要	この授業は、はじめて経済学を勉強する人を対象としてニュースや新聞で扱われる日本経済の理解を目標とします。経済関連科目を受講する人は必ず履修をする必要があります。入門の基本的な用語や考え方を学習します。
期待される学習成果（目標）	1. 経済学の考え方をを用いて、日本の経済について理解できる。 2. 入門の経済学に使う基本的な用語の理解と説明ができる。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	授業概要の説明と、日本経済論とはどのような学問であるのかについて解説します。	第9講	金融システムを理解する(3)日本銀行の役割	日本銀行とは何か。日本銀行の役割とは。
第2講	国民所得とは(1)	ある国が経済的に豊かであるとは。	第10講	金融システムを理解する(4)	マネースtock、ベースマネーとは何か。
第3講	国民所得とは(2)	国民所得の見方について	第11講	外国為替とは(1)	外国為替とは何か。円・ドルレートの仕事とは。
第4講	物価とは(1)	インフレやデフレとは何か。	第12講	外国為替とは(2)	外国為替の変化と貿易への影響は。
第5講	物価とは(2)	物価の変化と経済への影響について	第13講	人と組織の経済学(1) 日本的な企業システム	日本企業の雇用慣行とは。
第6講	物価とは(3)	物価と貨幣価値について	第14講	人と組織の経済学(2)	労働市場の見方、失業率とは何か。
第7講	金融システムを理解する(1):貨幣とは	貨幣とは何か。貨幣の役割とは。	第15講	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。
第8講	金融システムを理解する(2):銀行の役割	銀行とは何か。銀行の役割とは。	定期試験		授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
評価方法		授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点数により評価します。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
必要に応じて資料を配布します。			伊藤元重『はじめての経済学(下)』日経文庫 マンキュー『入門経済学』第2版 東洋経済新報社 原田泰『日本経済論』新世社		